

【英語力強化 エントリーコース】

▶▶ 高度な英語力のための基礎作りと、効果的な自己学習方法を学ぶ

- 意味：文法・構文の基本ポイントと、英文の「文の作り方」の特徴
 - 音：英語的な音とリズムの感覚「文法」の基本ポイントと、英文の文の作り方の特徴が分かる
- ▶ **本格的なコミュニケーション力養成を目指し、応用力につながる「基礎力」をつけるコース**です。実戦でも通用する「正確性」「スピード」の両方を兼ね備えた英語力・コミュニケーション力のための基礎作りとその継続的学習方法を学びます。英語コアコースのレベルに達していない方向けのサポートコースです。コアコースへの導入がスムーズになります。本格的な英語力を目指すために必要な ①文法の効率的な基本エッセンスの理解と、②K/H システム基礎要素（「英語の正しい音とリズム」と「構文を追った、文頭からの意味のつかみ方」）にフォーカスした練習を徹底的に行います。「使える」英語を身につける実践的英語力の基盤と自己学習の方法論を学び、コース終了後も、継続的に英語力を強化することが可能です。
- ▶ **TOEIC目安：500～650点前後**（700点前後の方でも、特に構文や文法に自信のない方）
- 「英語を聞いても、ほとんどの単語が聞き取れない」
 - 「英文法や構文の理解に自信がない」
 - 「英語の勉強から離れてしまって、何から始めていいかわからない」
 - 「英語力強化 コアコースからの参加にはちょっと自信がない」
 - 「もう一度、基礎作りからやり直してみたい」

対象 英語の実践的な学習はこれからという方、英語をもう一度やり直そうと思いついた方、安心して英語の学習のスタートを切ることができます。TOEIC で500～650点前後の方に最も効果的です。TOEIC700前後の方も、文法や構文が苦手な方はこちらからの受講をお勧めします。コース選択や受講レベルに関してアドバイスが必要な方は、電話、Eメールなどで遠慮なくご相談ください。

教材 『仕事ダイアログ・プレゼンテーション教材』(CD 付) / 『リズム・発音練習教材』(CD 付)

日米の企業研修のニーズをもとに、英語圏のビジネスの現場で頻出する決まった言い回しや、パターン表現が入った応用範囲の広い表現を入れた教材です。同時に、コミュニケーションの効果を高めるのに必須の ①英語圏の典型的な話の流れ(ロジック)と、②丁寧表現(英語圏の社会人として適切な表現)も学べる内容になっています。付属 CD はポーズ入り、シャドーイング用スピード、ナチュラルスピードの3種類を録音し、その時の学習の成長段階に応じて使い分けられるようになっています。

発音教材は、日本人が聞き取りで特に苦手とするリズム、リエゾンパターンを抽出したもので、ビジネスで頻出する表現、例文を使用しています。

AGENDA

*参加者のニーズによって、順序等入れ替わることもあります

UNIT 1 :

＜文法・構文＞にフォーカスした理論と実践練習

- ・文法、構文の基本ポイントの確認
品詞／文の構造／自動詞・他動詞／船＋フック(長い文も作れる簡単なコツ)
- ・構文を正確に追いながら、文頭から意味をつかむ

UNIT 2 :

＜音とリズム＞にフォーカスした理解と実践練習

- ・英語の音とリズムの特徴
- ・リテンション／シャドーイング
- ・仕事でよく使う英語表現
- ・その背景にある英語文化の価値観

UNIT 3 :

「意味」と「音」をつかむ感覚の体得とそのため継続的な学習法

- ・音とリズムクリニック
- ・聞き取り実践練習(新しい素材を使って、聞き取りの型の経験値を増やす)
- ・学習法の復習
- ・質疑応答／継続学習のためのアドバイス

【英語力強化 コース】 ▶▶ 英語コミュニケーションの実戦力に不可欠な、英語力の基盤2要素の強化を目指す

- 瞬発力 ……………→ 生のスピードについていける
 - 正確性 ……………→ 推測でなく、正確にメッセージを理解できる
- ▶ 読めば分かっていても実戦のスピードに太刀打ちできない「読み書き中心の英語力」や、推測に頼る「サバイバル型の英語力」を超えて、「瞬時に、しかも正確」に英語を聞き取り、アウトプットできる英語力を身につけ、強化していくための実践的トレーニングです。プロの会議通訳者の養成訓練方法を応用し、10年以上にわたる研修での経験と実績をベースに工夫を重ねた体系的な学習方法です。忙しいビジネスパーソンが納得して取り組めるよう、英語学習と練習ステップを合理的に細分化した学習法を実践的に学んでいただきます。
- ▶ TOEIC目安:700点～900点 (700点前後の方で、特に構文や文法に自信のない方は、エントリーコースがお勧めです)
- 「TOEIC の点数と実力が比例していないと感じている」
 - 「ちょっと長い文になると、途中で分からなくなってしまう」
 - 「自分の推測に頼った聞き方をしている、実は理解が曖昧なままになっている」
 - 「英語の文章を頭の中で最後まで考えてからでないと、英語が話せない」

対象 英語の実践的な学習はこれからという方から、海外経験が長い方や TOEIC 満点に近い方まで、本格的な英語力へのレベルアップの方法を実践的に学んでいただけます。とくに、推測に頼ったサバイバル型の聞き取りに限界を感じ、より高い英語力へレベルアップする必要性を感じている方に最適です。また、文法・構文などの基盤はある程度あって、読み書きには比較的自信があるにもかかわらず、現場に来て、生のスピードでの聞き取りに歯が立たないと感じている人にも最適です。

TOEIC で700点以上の方に最も効果的です。英語力の高い方も、自分の現状と学習法の確認・調整、および本格的なレベルアップのための指針と方法論の習得の面で満足していただける内容になっています。700点以下の方、特に構文や文法に自信のない方は、エントリーレベルコースからの受講をお勧めします。

教材 『アメリカ人エグゼクティブのインタビュー』(CD 付)、『構文パターンボキャブル集1』(CD 付)

日米のビジネス文化に経験の深いアメリカ人エグゼクティブのスピーチ集(生い立ち、キャリアの歴史、社員のモチベーションを上げる方法、日米のマネジメント方法の違いなど、多岐にわたるトピックを扱ったもの。クラス終了後の継続学習にも使える教材)；英語のリズムを視覚的にみせる波形トランスクリプトと、文の構造を視覚的にみせる構文立体トランスクリプト；日本人が聞き取りを苦手とする典型的な構文のパターンに集中的に慣れるCD教材 など、独自の学習サポート素材を使い、聞き取りとスピーキングに不可欠な英語基盤力を体系的に強化。

AGENDA

*コースの概要をご理解いただくためのもので、実際には順序等入れ替わることがあります。

UNIT1 : 基本テクニックの紹介、特に<音の力>にフォーカスした理論と実践練習

- ・シャドーイング
- ・聞き取りの本当の弱点を知る現状把握の方法／弱点克服の方法
- ・英語の「音とリズム」の特徴
- ・英語の「文のつくり」の特徴

UNIT2 : <意味をとる力>にフォーカスした「聞き取りの正しいフォーム」の理解と実践練習

- ・英語の「文のつくり」の特徴にそった文頭からの聞き取り
- ・構文パターンを、「ボキャブラリー」を増やす感覚で身につける練習
- ・英単語のコアの意味のつかみ方
- ・正確な理解に不可欠な、構文に対する意識強化と、複雑な構文の処理の仕方

UNIT3 : 「実戦的英語理解の正しいフォーム」の体得と、英語を英語で理解する感覚への仕上げ作業

- ・同時通訳風意味落とし練習 ～ 音と意味の一体化による仕上げ
- ・聞き取り実戦練習
- ・質疑応答／継続学習のためのアドバイス

【ビジコミ強化 コアコース】 ▶▶ 国際的なビジネスの現場で成功するための、必須3要素の強化を目指す

- 論理性 英語文化における「知的な話の組み立て」で話せる
 - 丁寧表現 社会人として適切な英語で話せる
 - 加点式未来志向 リーダーシップを感じさせる英語コミュニケーションができる
- ▶ 現在の英語力で、英語コミュニケーションの質を飛躍的に高めるコツとポイントを学ぶプログラムです。＜英語力強化 コアコース＞と並び、K/H システムの中核となるコースです。＜英語力強化 コアコース＞では、実戦的に「英語力そのものの底上げ」を行うための学習方法を学ぶ一方で、本コースでは、現在持っている英語力で「より明確で、効果的なコミュニケーション」ができるためのポイントを実践的に学びます。① 国際的なビジネスの現場で社会人として要求される「英語の丁寧表現体系」や、② 英語圏で典型的な「話の組み立て方」などを学ぶことで、正確に、かつ礼を失することなく意思を伝え、効果的に相手を動かせるコミュニケーション力を目指します。15年以上にわたるアメリカのK/Hシステム企業研修のノウハウを集約したコースであり、即効的にも長期的にも投資効果が実感できる内容です。外国人と信頼関係を築き、リーダーシップを発揮しながら効果的に仕事をしていくうえで不可欠の知識と言えます。
- ▶ TOEIC目安:650点～950点 (TOEIC650点以下の方でも、ご相談ください)
- 「上司／クライアント／部下が外国人で、日々のコミュニケーションの取り方に困っている」
 - 「英語の世界でも、プロフェッショナルとして適切な話し方をしたい」
 - 「国際会議、学会、事務局、交渉などで、工作上、語句の選択や話し方に特に気を遣う必要がある」
 - 「英語で外国人と話していると、なぜか自分のところで会話の流れが止まってしまう」

対象 英語の実践的な学習はこれからという方から、海外経験が長い方や TOEIC 満点に近い方まで「社会人として適切な英語コミュニケーションを行うポイント」を実践的に学んでいただけます。英語を使った実践的なコミュニケーションはこれからのという方は、英語コミュニケーションの基本的ルールや大人として礼を失しない表現の基本を理解し、身につけておくことで、無用な誤解や行き違い、疑問などに苦しめられる「遠回り」を最小限に抑えることができます。英語での仕事やコミュニケーションの経験が長い方も、自分の経験から漠然と気づいていたことを確認し、体系的に理解を整理し、疑問を解消する機会として、学んでいただけることの多いコースです。

教材 「英語の＜社会人の言葉遣い＞」、「職場基本表現集」(すべて CD 付き)、その他配布資料

AGENDA

*コースの概要をご理解いただくためのもので、実際には順序等入れ替わることがあります。

UNIT1 :

英語のロジックパターン

- ・ロジックパターン＜基本形＞＜挿入形＞＜フィードバック形＞
- ・サポートの基本4タイプの理解
- ・説得に必要な情報量
- ・ロジックパターンに則したスピーキングの実践練習ドリル

UNIT2 :

英語の丁寧表現の基本視点と具体的表現

- ・日本語の発想をベースにした直訳的英語表現の落とし穴
- ・英語の丁寧表現のポイントと具体的表現
主語を選ぶ／結果を描く／重要性和必要性を訴える／「対等の大人」に対する説得
- ・ダイアログを使った実践練習

UNIT3 :

リーダーに求められるコミュニケーションの実践

- ・リーダーシップを感じさせるコミュニケーションのポイント
加点式未来志向／比較級／パワーワード／ポジティブフィードバックとネガティブフィードバック
- ・米国の一般的価値観、職場文化、雇用慣行などの背景知識
- ・総合実践練習
- ・質疑応答、これからの勉強方法などのアドバイスなど

【中級リスニングコース】 ▶▶ 『「正確に」構造を追いながら、かつ「リアルタイムで」イメージを残せる』聞き取り力の強化！

▶ このレベルの受講者にありがちな文法力、構文運用力の曖昧さから来る不正確な聞き取りから脱皮し、より高度な英語力にレベルアップするための実践トレーニングを徹底的に行ないます。長く、複雑な文でも、文頭から正確に、リアルタイムで英語を理解できる力を養成します。《英語力強化 コアコース》で学んだ「基盤力」も固めていきます。

英語力の伸びは、構文力とその運用力に確実に比例します。しかも、ある程度内容のある話を、正確に、しかもニュアンスまで丁寧に理解するには、「しっかりした構文力」が必須になります。英語力がついてきて、より高い目標を目指すようになればなるほど、構文力と構文運用力を身につける重要性は増してきます。早い段階から構文力の強化に取り組むことが、遠回りのように見えて、着実な上達の鍵になります。

▶ TOEIC目安:730点以上（このレベルに満たない方は、電話かメールにて事前にご相談ください）

「自然なスピードのネイティブの英語を確信もって理解できているわけではなく、どこか推測に頼っている聞き取りに後ろめたさを感じている」

「日常会話はほとんど理解できるが、話が複雑になると途端にサバイバル的な聞き方になってしまう」

「TOEIC のスコアは高いが、さらにレベルアップするために何が課題なのか分からない」

対象 <英語力コアコース>既受講者*で、継続学習のマイルストーンとして学習の進捗と次の課題を確認したい方／長い構文でも正確に聞き取れる高度な聞き取り力を養成したい方／停滞気味の英語学習に、新しい刺激がほしい方

*<英語力コアコース>の継続ステップアップコースとしてカリキュラムを組んでいます。<ビジコミ強化コアコース>からも継続して受講することは可能ですが、基本的には<英語力コアコース>で学ぶ「英語基盤力」と「訓練ツール」の理解を前提にコースを進行するため、学習効率と効果の面から<英語力コアコース>からの継続受講をお勧めしています。

教材 『頻出構文パターン ポキャビル集 CD1-3』、『リーダーのスピーチ*教材』(CD付)、『ノートテキング 記号・シンボルリスト』

* ビジネスや政治の世界でリーダーとして活躍しているネイティブスピーカーの生のスピーチの抜粋。様々なトピック、また役職・背景・性別などの異なるスピーカーのスピーチを使います。ネイティブスピーカーが実際に使っている「構文パターン」と「話の論理構造」を意識しながら聞き取りを練習することで、応用力を強化します。

AGENDA

● 聞き取り力アセスメントと、K/Hシステム学習法の簡単な復習

リスニング力の自己アセスメントを行い、前回の受講から「改善している部分」「できている部分」と、「これからの課題」とを具体的に特定します。また、<英語力強化コアコース>で学習した内容を簡単にレビューし、「音をつかむ力／意味をつかむ力」と「瞬時に意味・イメージに落とし込む力」をつけるための視点とコツを復習します。

● 日本人がリスニングで苦勞する構文パターンの聞き取り強化

ネイティブがよく使うにもかかわらず、日本人英語学習者がリスニングで非常に苦勞する構文のパターンにフォーカスし、実践的に身につけます。構文に注目したリスニングアセスメントを行い、自分の課題を具体的に認識した上で聞き取りの訓練を行うため、クラスの中で、自分の課題を意識して、課題を効率よく克服していくサイクルを体験することができます。K/Hシステム開発教材“頻出構文パターン ポキャビル集1-3(CD付)”を使います。

● 学習ツール“立体ノートテキング”のコツを紹介

高度なリスニング力強化に役立つ練習ツール“立体ノートテキング”を紹介します。複雑な構文を立体的に意識する力、イメージをつくって残す力、論旨を追って話のポイントをつかむ力など、様々な力を強化するのに効果を発揮します。“立体ノートテキング”は英語の総合的な力が試されるスキルで、一朝一夕にはできませんが、練習すること自体に様々なメリットがあります。ノートテキングの実践練習と同時に、講師によるデモンストレーションが見られることで、効果的なノートテキングのやり方が具体的に分かり、理解も深まります。

● 英語の論理構造を追った聞き取り力の強化

英語の典型的な論理構造のパターンを学び、それをヒントに論旨のメリハリを意識した聞き取り練習を行います。情報を直線的に、流れてくるままに聞くのではなく、立体的に、整理しながら理解し、話が長くなっても話し手のメッセージを正しくつかめる力を養成します。

【中級スピーキングコース】 ▶▶ ビジコミ強化 コアコースのステップアップコース！

意思を明快に、誤解なく伝えるスピーキング力を強化する

- ▶ プロフェッショナルとして意思を明快に、かつ誤解なく伝えられる英語コミュニケーション力の養成を目指します。
＜ビジコミ強化 コアコース＞で学習した2つの要素、①話の論理構造 と ②丁寧表現 をスピーキングで徹底訓練することで、両方の視点を運用レベルまで引き上げます。
- ▶ 相手を説得して動かすうえで効果的なサポートのタイプ、サポートの組み立て方、および表現を具体的に学びます。また、ロジックパターンの見本例を集めた強化教材でたくさんの実例に触れ、表現も含めて身につけることで、アウトプットのクオリティーを効果的、効率的に高めます。
- ▶ 話の構造(マクロ)だけでなく、一文単位(マイクロ)の精度も高めるために、文法の強化練習も行います。特に仕事上の大きな誤解につながりやすい「日本人の文法ミスのパターン」にフォーカスして、課題に取り組みます。
- ▶ 実践練習は簡単な会話から始まり、段階的にショートプレゼンテーションやディスカッションに進んでいきますので、一つ一つ積み重ねて体系的にスピーキング力を強化していくことができます。
- ▶ TOEIC目安:730点以上（このレベルに満たない方は、電話かメールで事前にご相談ください）
「英語はかなり時間をかけて勉強してきたが、聞き取り力のようにスピーキング力が上がらない」
「言いたいことは何とか伝えられるが、論理立てて相手に説明できず、最後は相手の理解にすぎた話し方をしてしまう」
「英語が話せると周りには思われているが、実は文法や時制がいい加減で、自分の英語力に後ろめたさを感じている」

対象

＜ビジコミ強化 コアコース＞を既に受講された方。＜英語力強化 コアコース＞からも継続して受講することは可能ですが、できれば、まずは＜ビジコミ強化 コアコース＞にご参加ください。英語の文化における効果的なコミュニケーションの基本コンセプトを＜ビジコミ強化 コアコース＞で学び、その後で＜中級コース＞を受講されると学習効果が一層高くなります。

教材 『K/H System Logical Structure Pattern Drills』(CD 付)、『テンプレート・スピーキング』(CD 付)

必要な情報を英語的に整理する力の強化、様々なアプローチで説明(サポート)を入れる方法の習得、相手を動かすための効果的な論理構造のパターンの実践練習を行い、効果的にコミュニケーションできる力を強化します。

AGENDA

- **相手を説得して動かすのに効果的なサポートのタイプの学習**
メインポイントを説得するために、より柔軟に複数のサポート(理由、言い換え、具体例、データ、利点、重要性、対比など)を入れる練習をします。「ロジックパターンドリル」教材を使い、複数の見本例を学習した上で、実践練習を行います。
- **日常の仕事のコミュニケーション力アップにつながる、話の組み立ての「テンプレート」の学習**
日常的な職場の英語コミュニケーションで頻出する様々な場面(報告、指示、提案、意見を主張する 等)に応用できる話の組み立てのテンプレートを学びます。自然な話の論理展開を身につけると同時に、そこで使われる定型句も正確に覚えることで、職場でより説得力のある話し方ができるようになります。
- **一文単位のスピーキングのクオリティーをあげる強化練習**
話の構造(マクロ)だけでなく、一文単位(マイクロ)のクオリティーも高めるために、①聞きやすさ、話しやすさに大きく関係する“「かたまり」感覚”強化スピーキング練習、②エグゼクティブのような知的な話し方には必須の“長めの構文パターン”を使って話す練習、③細かな誤解につながりやすい“日本人の文法ミスのパターン”克服練習 等にフォーカスして、課題に取り組みます。
- **体系的なスピーキングの発展練習**
企業研修で効果をあげているスピーキング力強化ステップを導入し、段階的にスピーキング力を向上させます。DAY1では主に自分の言いたいポイントを説明するスピーキングを行います。ビジネスで案外重要な Small Talk から始め、典型的な形に慣れてきた段階で、次に様々な種類のサポートを入れて話す訓練も行います。その上で、自分のポジションを相手に説得する練習に移ります。相手に納得して動いてもらうために必要な説明の量と、効果的なサポートのタイプを意識して情報を組み立てて話します。最終日は、仕上げとして、相手の意見を丁寧に受けた上で自分の意見を主張する必要があるディスカッション/ミーティング/ディベート形式のスピーキングを行います。

K/Hシステム実力英語講座プログラム

■ プログラムで使う主なテクニックと学習内容

■ シャドーイング

最近では、多くの学習者に知られるようになってきた練習テクニックです。やり方は、英語を聞きながら、ほぼ同時にその英語を口に出して繰り返しながらついていくもので、音の聞き取りに非常に困難を覚えるレベルから、同時通訳者のレベルまで、焦点の当て方次第であらゆるレベルの人に効果のあるテクニックです。

ただし、やみくもにシャドーイングを繰り返していてもなかなか成果ができません。シャドーイングで本当に効果をあげるための視点と練習方法を教授します。

具体的な効果の例としては：

- ・ 聞き取り／理解力の本当の弱点の認識
- ・ アクティブボキャブラリーを増やすことで、スピーキング能力を強化
- ・ 英語の自然な音やリズムの感覚の体得

■ 文法・構文簡単レビュー

推測に頼ったサバイバル英語を脱皮するには、どうしても必要な土台です。K/H システムでは、実戦で本当に必要な文法の基本ポイントと、英文の文の作り方の特徴を、頭でっかちでなく、簡単に噛み砕いてレビューします。本当に大事なポイントが何なのかクリアになり、文法が怖くなくなります。英文を作るのも、身につけるのも今よりずっと容易になり、同時に、丸暗記でなく、応用のきく形で英文が身につくようになります。

■ 構文立体トランスクリプト

上記、「文法・構文簡単レビュー」の概念を利用して、現実の英文を英語の構造に即して視覚的・立体的に表した英文テキスト(トランスクリプト)です。これを練習時に常時使うことで、文の構造(構文)を見抜く感覚が自然に強化されます。それが、現場で、構文も文法も正確なスピーキング力・リスニング力となって現れます。

■ 英語のリズム・リエゾン クリニック

日本語的な音で英単語を覚えていたり、単語単位で英語の発音に慣れているだけであるために、知っている単語ですら聞き取れないという実にもったいない状況が多く多くの学習者に起こっています。英語は、何単語もつながった「かたまり」単位で音が連結し合い、弱強の大きなリズムで拍が刻まれる言語です。この英語の「リズム」と単語間の音がつながる「リエゾン」の感覚をつけることで、聞き取り力の大きな飛躍が起こります。

■ 文頭から意味をとる

英文解釈的に文末まで待つから意味を理解しようとする、実戦では歯が立ちません。英語の文は、結論的な情報をまず出してから、それに付随する詳細情報を付け加えるという「文のつくり」になっていて、情報の順序に典型的な特徴があります。そのパターンを知り、意味の「かたまり」で、文頭から正確に意味をとらえていく聞き方へと「聞き取りのフォーム変換」を行います。実戦での聞き取りのためには、「英語の音の感覚の強化」と同時に、この力がもうひとつの大きな柱になります。

■ 英語を「かたまり」でとらえる

一単語一単語を追ってはいは、処理過程が多すぎて、聞き取りの実戦では太刀打ちできません。「音のとらえ方」「意味のとらえ方」の両面で、「かたまり」で処理する感覚、「かたまり」で身につける意識が重要です。①英語のリズムとリエゾンの感覚、②英文のつくりの特徴に対する慣れ を強化する練習を通して、実戦に不可欠なこの感覚を身につけていきます。

■ やまと言葉落とし

英語の語句の意味を、辞書的で硬い「よそいきの言葉」で覚えていては、実戦のスピードでズバツと「頭にしっかり残る」理解ができず、「何となく分かったつもりだったのに、すぐ忘れてしまう」「訳は一応言えるのに、結局何を言われているのかスッキリしない」といった現象になります。辞書の「訳語」レベルの理解から一歩進んで、①「自分の日常的な発想にある身近な(‘イメージ’に近い)ことば」に落として理解する、②英単語のコアの意味をつかむ、といった視点や習慣を身につけてもらいます。「英語を英語のまま意味として理解する感覚になる」ために重要な練習方法です。

■ 同時通訳風意味落とし

リアルタイムで正確に英語の意味をつかむ「聞き取りのフォーム」に慣れてきたら、練習をやりこんだ英語を使って、同時通訳のような練習をします。負荷の高い練習ですが、意味の処理スピードが上がり、正しい聞き取りのフォームの定着もはかれます。「英語を英語で理解している感覚＝英語を意味としてダイレクトに理解している感覚」を体験できる練習です。